令和7年度　学校経営全体構想 【R7.4.1】

●市教育振興基本計画

【基本理念】
「自分で思い描く幸せな未来を
創造していく子」を育む
【基本目標1】
未来への礎となる力を育む教育の推進
【基本目標2】
可能性を引き出す教育の推進
【基本目標3】
学びを支える環境の整備

●学校の教育目標

心豊かに　自ら学ぶ
たくましい子の育成

思いやりのある子　（情）
自ら学ぶ子　（知）
たくましい子　（体）
やりぬく子　（意）

●児童の実態

○分かりやすい授業、仲間に自分のよさを認められる自覚などから、「学校が楽しい」と感じる児童が多い。
○4本柱を大切にし、指示を素直に受け入れて取り組む姿が多い。
▲自分の良さは感じながらも、自己肯定感の高まりにまではいたっていない。
▲新たな活動の創出など、前例踏襲型の活動からの脱却を目指した挑戦する気持ちと行動に弱さがある。

●願う学校像

自分への挑戦…自信と笑顔を育む学校
重点：あいさつ・集中掃除・集中はみがき・しずかに集合

●めざす児童の姿と重点・指標

思いやりのある子

1　共によりよく生きようとする人権意識の向上
・仲間と自分自身を大切にして、安心して過ごせる居場所をつくる。
・お互いのよさや違いを理解し、尊重し合うことで、豊かな人間関係と人権意識を育てる。

2　自発的・自治的な教育活動の推進
・異なる学年の仲間と意図的に関わる機会を設けることで、多様な考えや価値観に触れ、温かい人間関係をつくる。
・生活上の課題に対して組織的な活動を通して、主体的に行動できる力を付ける。

3　心の教育の推進
・各教科と関連付けた道徳教育を進め、自己を見つめる姿勢と、他者を尊重する心を育てる。
・地域の人材と連携した交流を通じて、支え合い学び合う心を育て、地域社会とのつながりを深める。

▸学校へ行くのが楽しい　A:60%
▸自分にはよい所がある　A:55%
▸友達のよさをみつける　A:75%
▸地域や家庭であいさつ　A:65%

自ら学ぶ子

1　意欲を高める個・集団への指導
・基礎基本の徹底。
・考えたくなる導入、考える意欲が続く展開、みんなが「わかった！」と言える終末。

2　豊かな表現力を伸ばし、課題解決を図る学習活動の推進
・聞く力、話す力を身に付ける。
・話し合う力を高める。
・仲間と関わり合って学び、自分の思いや考えを深める。
・本時の学びを自分の言葉でまとめ、表現する。

3　本物に触れる体験的な学びの推進
・いろんな「人・もの・こと」に触れ、興味をもち、進んで調べる。
・経験したこと、学んだことを、普段の生活につなげる。
・進んで読書をする。

▸授業がよく分かる　A:60%
▸分かりやすい授業　A:80%
▸自分の考えを仲間に伝える　A:80%
▸情来の夢・憧れの職業　A:75%

たくましくやりぬく子

1　生命を尊び、自らを守る行動力の育成
・命を守る訓練で、災害等の危険性を理解し、自分を守るための行動を考える。
・教育相談体制について知り、自分の思いを伝え、問題を解決しようとする。

2　環境を自ら整える力の育成
・掃除を通して、身の回りの環境を美しく整える力をつける。
・活動に適した持ち物や服装、環境を考え、整える。

3　健康、体力の向上に努める力の育成
・歯みがきを通して、自分の健康を自分で守る意識をもつ。
・自分の体力が高まるように、めあてもって運動に取り組む。
・4つの伝統を大切に行動する。下級生が憧れをもつように、高学年の姿や意識を高めていく。

▸困ったり悩んだりしたとき、身近な人に相談する　A:65%
▸集中掃除ができる　A:70%
▸朝晩の歯みがき　A:85%
▸できることを増やすために、頑張っていることがある　A:60%

●指導の基盤

～めざす教師像～
○授業改善に取り組む教師
＊児童の実態把握、一手間一工夫をして成果を見届け
＊効果的なICTの活用
○安心感、自己有用感を感じる学級づくりをめざす教師
＊ルールとリレーションに基づいた安心できる学級経営
＊児童のよさを多面的に評価・価値付ける
○子供、家庭、地域から信頼される教師
＊人権感覚のある言動
＊迅速で誠意ある対応
○働き方改革に取り組む教師
＊仕事に軽重をつけたセルフマネジメント

～保護者との連携（共育）～
◇挨拶、返事、整理整頓など基本的な生活習慣、家庭での学習習慣づくり
◇地域の環境美化、安全確保に努める
◇情報機器端末の適切な活用に努める
～地域との連携（協育）～
◇学校運営協議会を通した地域人材の活用、教育環境、教育支援の構築
◇地域の自然、文化、歴史など環境資源の活用
◇幼保小中、小中連携の充実
◇主任児童委員、民生児童委員、子ども未来課、SC、SSW、子ども相談センター等との連携